



ふくしまキッズ報告書2011

ふくしまキッズ実行委員会



目 次

実行委員長ごあいさつ	… 2
支援者メッセージ	… 2
運営体制	… 4
ふくしまキッズ2011夏 北海道Report	… 5
ふくしまキッズ2011冬 北海道・横浜・愛媛Report	… 7
ふくしまキッズ2012春 北海道・三浦・塩尻・飛騨高山Report	… 9
子どもたちからの親書	…11
保護者からの親書	…13
ボランティアの活動	…15
特別支援団体・協賛企業・協力団体・支援者	…17
会計報告	…27
子どもたちから支援者への手紙	…29

ふくしまキッズプログラム運営全体組織図

実行委員会運営本部

全体計画の立案・予算の立案・支援金の募集

支援委員会

運営事務局 SOCC 教育支援協会北海道事務所内

支援金管理・広報情報発信・受付窓口・参加者名簿管理
経理処理・各現地本部との連絡・Web 管理

福島事務局

NPO 法人あぶくまエヌエスネット

問い合わせ対応・保険加入・送り出し体制

現地運営本部

参加する子どもたち・保護者

ごあいさつ

■「希望の光—ふくしまキッズ」

実行委員長 進士 徹 (NPO法人あぶくまエヌエスネット理事長)

ふくしまキッズの活動は、学校長期休暇に放射線の不安から解放され、思いっきり野外での活動を楽しみ、「子どもらしさ」を福島の子どもたちに笑顔と元気を取り戻してもらおうとする活動です。そして、単なる避難ではなく、そうした活動を通して多くの学びがある教育プログラムとして運営されています。

このプログラムに、昨年の夏以来今までに875人もの子ども達が参加する事が出来ました。これもひとえに世界中の皆様から寄せられた温かいご支援のおかげで、ふくしまキッズ実行委員会を代表して感謝申し上げます。

「ふくしまキッズ」に参加した子ども達は、当たり前のごことがいかに幸せかをかみしめながら活動終了後、リスクのあるエリアに戻ります。子ども達を引き受けた地域の方々は「いつまでも子ども達が健康で元気でいて欲しい」と見送りながら、「本当に帰していいのだろうか」と複雑な心境の中で、次の再会を強く願っておられます。私は、子どもたちの心の中に残った活動期間中の一つ一つの素晴らしい思い出が、放射線をはね除けるくらいのパワーに繋がるはずだと固く信じています。そして、福島の子ども達は、ふくしまキッズの活動を通して培われた力によって、心豊かに凛とした品格を持った青少年に育ってくれるに違いないと確信しています。このことには次のような「子どもの成長」のあかしとして、ふくしまキッズに参加した小学1年生の少女のエピソードがあります。

2週間の活動を終えて帰宅し、その少女はお母さんのお手伝いをするようになりました。そして、単にお手伝いをするのではなく、「1回につき10円のご褒美を頂戴!」とお母さんにねだるようにな

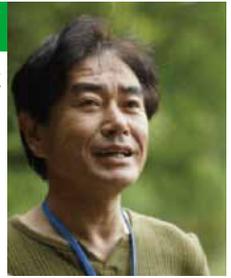
りました。10円貯金を続ける子ども、その意味をお母さんが理解したのは、暫く経ってからのことでした。コツコツと貯めたお金は全額ふくしまキッズの支援金に寄付をすると楽しく参加できた。だから、自分の為の貯金でなく、一人でも多く参加して欲しいから私はそのために10円貯金をし続けるの」と言っていたそうです。

「今までの受け地」—北海道・神奈川県・長野県・岐阜県・愛媛県で開催しました。各地域では、現地で活動するNPOや公民館職員有志の皆さんが中心となり、学生や地域の市民の皆さんがボランティアとして協力していただき、それぞれの地域の特色ある体験交流プログラムを作り出していただきました。

その結果、子どもたちの多くの笑顔が生み出されただけでなく、大人同士の協力関係が生み出されることによって、その地域にも活気が出て来ました。こうしたさまざまな人の関係性が生み出される「ふくしまキッズ」の活動の意義は、今の我々の社会にとってとても深いものだと感じています。福島から福の島日本列島に替えていく、日本の心ある社会への浄化、こうしたことが私たちにとってのもう一つの大きなテーマとなっています。

福島のごことは日本のごこと、世界のごことです。残念なことです。私たちは次世代に重たい荷を背負わすことになってしまいました。その責任は私たちの世代にあります。その責任を果たすために子どもたちの笑顔と元気を生み出したい。そのために「ふくしまキッズ」はこれからも前進を続けます。

どうかこの輪を大きくする一人になっていただけるよう、ご支援とご協力をよろしくお願い致します。



支援者メッセージ

■田口ランディさん 作家

「子どもたちは地球の絆。

みんなの力で守り育てたい」

学校行事に参加するたび、子どもたちの笑顔、子どもたちの元気な歌声に涙ボロボロ。なんて屈託なく明るいんだろう……と、いつも私が勇気づけられます。子どもたちは絆です。家族の絆、地域の絆、そして地球に生きるすべての人にとっての絆です。一生懸命に周りに気づかい皆を支えている福島の子どもだちに、とびきりすてきな夏休みをプレゼントしたいです。みんなが大自然の中で伸び伸びと遊べるように、どうかご協力をお願いします。



■戸塚隆さん ジャーナリスト

宇宙に地球のような生命体の存在する星はほかに存在するのでしょうか？
いまのところの答えは「恐らく存在するだろうが、まだ確証はない」というところでしょう。



たっぷりの水。生命の存在。複雑な生態系。このような地球を外から眺めるとそのデリケートでいとおしいまでの美しさに感銘をうけるといいます。

「人間中心の世の中にしよう」が気がつけば「人間はなんでもできる」という錯覚になってしまった世界。時に自然は、その人間の驕りに警鐘をならします。私たちは人知の及ばないものがこの星に存在することを感ずる必要があります。

「センス オブ ワンダー」環境海洋学者レイチェル・カーソンが最晩年に出した本の中に「雨の日の森ほど素晴らしいものはない」というくだりがあります。屋外に出て不思議だらけのこの地球の息吹に触れることが、どれほど子どもたちを育むか。レイチェルは、雨の日の森を例に語っています。

自然を通して子どもたちを育むことを続けてきた多くのNPOのみなさんが社会的な「つながり」を通して自然体験という具体的な試みで福島の子どもを支える。自然の中で生き物がどのように生きているかを体験を通して学ぶなかから子どもたちが明日への希望を心に宿していく。

いい試みですね。ぜひ、みなさん、みんなで応援しましょうよ。

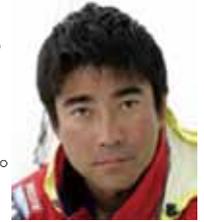
■ 玄侑宗久さん

作家・震災復興構想会議委員
低線量被曝の影響については、じつにいろいろな意見が入り乱れている。この国の「専門家」たちは どうやら普通に「合意形成」もできない人々のようだ。内閣府と文科省と厚労省も、どうしてバラバラなことを言うのだろう。子どもの親たちが一番困っている。ただこのプロジェクト、放射線の影響がどうであれ、行なう価値があることがはっきりしてきつつある。これはかけがえのない国内短期留学制度だと思う。応援します。



■ 白石康次郎さん 海洋冒険家

子どもは遊びが仕事です。遊びの中から、夢が芽生えます。そして、人間関係や社会を学んでゆきます。今、福島の子供達のことを想うと胸が詰まります。私はぜひ、福島の子供達に、思いっきり外を走って欲しいのです。



思いっきり深呼吸して欲しいのです。そのプログラムが「ふくしまキッズ夏季林間学校」です。多くの子ども達が、広い大地を走りまわっている姿を想像すると、それだけで、心が晴れやかになります。

■ 寺脇研さん

京都造形芸術大学教授
もう政治になんか期待できない、と思う方は多いでしょう。
政治に絶望してもいい。でも社会をよくすることに絶望してはいけない。政治が税金を使ってやることに期待できないなら、自分たちのお金や時間や労力を使って世の中をよくしましょう。福島の子供達を政治が救えないなら、わたしたちが立ち上がる時です。



■ 中島岳志さん

北海道大学大学院法学研究科准教授
人間の生を支えている空や土、雨が、いまや恐怖の対象となっています。そんな中、福島の子供達は、時にびくびくしながら、「あれはダメ、これはダメ」と制限を受けながら生きています。子どもたちに場所を与えることは、大人の責務です。土を恐れ、雨に慄く状況から、少しの間でも解放してあげたい。その思いの実現のためにやれることがあります。ちょっとずついいので、お金を出し合しましょう。



■ ジョン・ギャスライトさん

中部大学教授
ツリークライミングジャパン代表
笑顔いっぱいの夏休みをプレゼントしたい。森の木は北海道の大地で両手を広げて待っていますよ！森は目に見えない土の下で根っこ根っこが絡み合ってお互いを支えているんだよ。福島キッズも心と心が結びつき、お互い支え合う楽しい思い出づくりができるといいね！



■ 湯川れい子さん 音楽評論・作詞

福島の子供達の医療費を無料化するという希望は、国の決定として正式に見送られました。と言う事は、子供達が何とか自分達のチカラで健康を保たなければ、経済的にも大変な負担になると言う事です。



これからは、いっそう福島放射能の影響下にあると考えられる子供達を、青空の下に連れ出して、思い切り楽しく遊ばせることによって、免疫力を高めて行く事が必要になります。誰もお金に余裕はありません。でも、

■ 吉田研作さん 上智大学教授

子どもは日本の、そして地球の未来です。その子供たちが自由に羽ばたき、前向きに生きていけるように少しでもお手伝いできることは私にとって大きな喜びです。
2011年を境に、世界は変わるでしょう。そして、その担い手こそが子供たちなのです。



何とかあちこちをお願いして、少しでも善意の寄付が集められるように、微力を尽くしたいと思っています。どうぞご協力をお願い申し上げます。

■ 遠藤和章さん

参加される皆さん、大自然豊かな北海道で、楽しい思い出をいっぱいつくってください。子供たちは、これからの日本のために、大事な宝物です。皆さんで、未来ある子供達を応援しましょう。



■ 藤田保さん 立教大学教授

ふくしまの子供たちの笑顔を取り戻すことは日本の未来に笑顔を取り戻すことに他なりません。子供たちがボールを追いかけて野原を駆け回る、そんな当たり前の日常が戻るには、残念ながら、まだ何年もの時間が必要です。



私たち大人ができること、それはじっくり腰を据えて子供たちの成長をしっかりと見守ることです。あせらず、たゆまず、手をたずさえあって、子供たちの未来を応援していきましょう。

運営体制

■実行委員長: 進士 徹 (NPOあぶくまエヌエスネット理事長)全体総括

■実行副委員長: 吉田 博彦 (NPO教育支援協会代表理事)支援金募集・渉外担当

■実行委員: 宮本 英樹 (NPOねおす理事) 北海道受け入れ担当

実行委員: 安江 こずゑ (NPO教育支援協会北海道代表理事)事務局担当

実行委員(非常任): 上条 大輔(NPO法人環境応援団児童デイサービスあーす)夏期林間学校/ 障害のある児童担当

実行委員(非常任): 渡会 元紹(曹洞宗寶琳法住職)夏期林間学校/ 障害のある児童担当

実行委員(非常任): 穴澤 剛行(一般社団法人子どものチカラ研究会常任理事)夏期林間学校/ 受け入れ地区渉外担当

実行委員(非常任): 松本 典子(福島県ツーリズムガイド連絡協議会役員)夏期林間学校/ PR担当

実行委員(非常任): 青野 信久(こどもの絆プロジェクト)冬のプログラム/ 愛媛受け入れ担当

実行委員(非常任): 市川 靖 (NPO 教育支援協会)冬のプログラム/ 横浜受け入れ担当

実行委員(非常任): 西尾 真由美 (NPO教育支援協会東海)春のプログラム/ 飛騨高山受け入れ担当

実行委員(非常任): 海野 義明 (NPOオーシャンファミリー)春のプログラム/ 三浦受け入れ担当

実行委員(非常任): 芝野 靖 (NPO教育支援協会長野)春のプログラム/ 塩尻受け入れ担当

■監査委員: 金野 栄太郎 (公認会計士)会計管理・決算管理担当

監査委員: 立川 直樹 (あずさ監査法人)会計管理・決算管理担当

■支援委員(50音順)

遠藤 和章 (北海道公民館協会事務局長)

玄侑 宗久 (作家・震災復興構想会議委員)

ジョン・ギャスライト (中部大学教授・ツリークライミングジャパン代表)

白石 康次郎 (海洋冒険家)

田口 ランディ (作家)

寺脇 研 (京都造形芸術大学教授)

戸塚 隆 (ジャーナリスト)

中島 岳志 (北海道大学大学院法学研究科准教授)

藤田 保 (立教大教授)

湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家)

吉田 研作 (上智大学教授)

■特別賛同人(50音順)

新井 満 (作家・作詞作曲家)

辻井 喬 (詩人・作家)

日野原 重明 (聖路加国際病院理事長・日本音楽療法学会理事長)

細川 佳代子 (NPO法人勇気の翼インクルージョン2015理事長・公益法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長)

吉永 小百合 (俳優)

ふくしまキッズ2011夏 北海道Report

■福島第一原発事故の影響で、福島の子どもたちが室内にすることが強制されていることを受けて、この機会を生かして、福島の子どもたちの学びと育ちを支援する教育事業を北海道において実施し、多様な体験や人との交流を作り出して行くことを目的として計画が作られた。

参加を希望する家庭の子どもたち(小学生・中学生)を対象に参加費は3万円のみとし、第一次引き受けを200名として募集に入り、希望者が圧倒的に多かったため、追加募集を行い、最終的には518名の参加となった。

障害のある児童については保護者の同伴を原則とし、兄弟関係で幼児の場合も参加を認め、その場合も保護者が同伴することを原則とした。このプログラムは北海道・七飯町大沼をベースキャンプとし、



今後5年の運営が可能な体制作りに向けて、北海道全地域から引き受け支援の申し出を受け、全道に活動拠点を設置した活動を作り出した。

■ふくしまキッズ夏季林間学校活動の経緯

- 5月17日 第一回実行委員会で基本計画を決定し、事業活動を開始
- 6月 6日 福島県庁と北海道庁で記者会見を行い、ホームページから参加者募集を受付開始。受付開始直後に定員200名を超えたため、急遽実行委員会を開催し、追加募集の体制の検討を開始。
- 6月17日 北海道庁、七飯町の支援が決定し、50名の追加募集として第二次募集を開始。
- 6月20日 文部科学省記者会見室で会見を行い、全国へ向けて支援を要請。
- 6月30日 外国人記者クラブで会見を行い、海外に向けて活動への支援を要請。
- 7月 1日 海外からの支援が内定し、300名の第三次募集を開始。
- 7月 9日 北海道各地からの支援の申し出を受けて、第三回実行委員会で計画を修正し、北海道各地での活動計画を策定。
- 7月10・11日 福島県3地区(福島・郡山・いわき)で参加者への説明会を開催。
- 7月17・19日 関東地区でボランティアへの説明会を実施。
- 7月20日 北海道・大沼に現地運営本部を開設。
- 7月25日 第一陣の子どもたち211名と障がい児コース32名が北海道へ出発、ふくしまキッズ夏季林間学校がスタート。
- 8月 1日 8月1日 第二陣の子どもたち275名が北海道へ出発、北海道各地へ旅に出発。同日に52名が福島へ帰着。
- 8月 8日 子どもたち99名が福島へ帰着。
- 8月12日 子どもたち129名が福島へ帰着。
- 8月20日 子どもたち192名が福島へ帰着。
- 8月28日 子どもたち45名が福島へ帰着してふくしまキッズ夏季林間学校の活動が終了。
- 8月30日 北海道・大沼の現地運営本部の撤収を完了。





ふくしまキッズ2011冬 北海道・横浜・愛媛

■冬の活動は夏と同じように、冬休みに何の心配もなく、思いきり「子どもをやらせよう」と同時に、子どもたちの学びと育ちを各地域の多様な体験や人とのコミュニケーションを通して作り出すことを目的とし、その趣旨に賛同する家庭の子どもたち(小学生・中学生)を対象に参加費は往復の交通費相当分のみとし(生活保護家庭は全額無償)、抽選により参加者を決定することとしました。

そして、ふくしまキッズ冬のプログラムの募集人数は、北海道プログラム:100人、神奈川プログラム:170人、愛媛プログラム:30人とし、参加資格を「福島県内に住居をもち、この事業計画に賛同する家庭の小学1年生～中学3年生の子どもたち」としました。

また、事務局の運営を、夏の段階での教育支援協会東京本部から、北海道のSOCC子どもを守ろうプロジェクト協議会へと移管し、今後5年間の活動体制を構築しました。

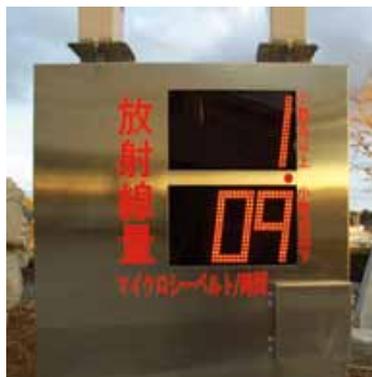
- 参加者:北海道 93名
神奈川 76名
愛媛 21名

- 参加ボランティア:278名
- ホームステイ引き受け家庭:34世帯

- 協力スタッフ:64名

■協力関連団体

- NPO・NGO:10法人
- 地域協議会・団体:29団体
- 民間法人:32企業
- 協会:2団体
- 大学:2校
- 財団法人:7法人
- 自治体:7団体
- その他:7団体



■スケジュール

実行委員会で冬プログラムの概要を確定(札幌市)

:9/15

冬プログラム募集開始 :10/23～

「希望のキャンプ」発刊 :10/27

冬プログラム募集終了 :10/31

冬プログラム参加者確定(参加希望者全員収容)

:11/7

冬プログラムへの支援金募集開始(夏からの繰越180万円を繰り込む)

:11/8

冬プログラム参加説明会 :12/10

北海道プログラムスタート :12/24

神奈川・愛媛プログラムスタート :12/25

北海道プログラム終了、横浜プログラムBコース終了

:12/30

神奈川プログラムCコーススタート :1/4

愛媛プログラム終了 :1/6

神奈川プログラムA・Cコース終了 :1/8



■「子どもたちにとっても、私たち関わる大人にとっても、有意義な時間となってくれました。あるホストファミリーのおばあちゃんが、『わたしはあと20年生きたい。そして、この子たちの20年後を見たい』とおっしゃったそうです。そう、ふくしまキッズの子どもたちは、北海道の人々をより前向きにしてくれているのです!ふくしまキッズというこの取り組みのきっかけはとても重たいものであったかもしれませんが、これからの日本を動かしていく子ども、そして大人たちを作り出すきっかけになるのかもしれないと感じているところです。」

北海道という大地を活かせるふくしまキッズの活動、大きな課題を担っている北海道でした。(北海道プログラムの総括責任者の上田さん)



横浜Report

■12月25日、極寒の福島と郡山から、最初の55人の子どもたちが横浜に向かい、活動がスタートしました。活動の基本は外遊びで、フィールドアスレチック、ドッジボール、鬼ごっこ、森探検など施設内での遊び組と、町探検でみなと未来に行きカップヌードルミュージアムに行く組や中華街に行く組に分かれて活動しました。

また、JAXSAの訪問など首都圏でしか出来ない体験が組み込まれました。

年末は鎌倉での散策のあと、三浦での活動へと移り、森のなかで遊んだり、海辺でいろんな生きものを観察したりして、30日に三浦サイトをスタートして、横浜で昼食をとった後、福島に向けてふくしまキッズ横浜プログラムのAコースは帰っていきました。

後半は1月4日にスタートし、海洋冒険家白石康次郎さんによる世界一周ヨットレースの様子の話や「八景島シーパラダイス」での一日遊び、横浜DeNAベイスターズ(旧:横浜ベイスターズ)の背番号18「ハマの番長」三浦選手と、日本人女子初のプロ野球選手吉田えり選手との交流会など、色々な活動メニューが用意されていました。



愛媛Report

■12月25日に子ども達はバスで羽田空港に向かい、はじめて飛行機に乗る子もいて、少々興奮気味で、飛行機が離陸するときに体がシートにくっつくような感覚に「きゃー」「気持ちいい…」と大騒ぎでした。そして、順調に松山空港に到着。現地の皆さんがロビーに手作りの横断幕がそして、温かく子どもたちが来ることを、待っていてくれたのです。

愛媛では今回のプログラムの運営のために「子ども絆プロジェクト」を立ち上げ、公民館職員の有志の方達が主体となって、地域の人たちや愛媛大学の学生達が協力して受け入れが始まったのが愛媛コースです。子どもたちは新居浜、別子山、今治と愛媛の多くの方々に優しく包まれた日々を過ごしました。

31日には松山空港へ保護者の方々がこられ、久しぶりの親子ご対面となり、お正月は家族と過ごす時間としましたが、年が明けて、また子ども達はお父さん、お母さんと分かれて集合し、「国立大洲青少年の家」での活動まで全11泊12日の愛媛コースを元気に過ごしました。

ラストの日、引率していたぼんた委員長から「明日福島に戻ります。放射線でも我慢の生活が待っています。でもここ愛媛で受けた楽しかった時間で、たくさんの元気を充電できました。ありがとうございました。」という挨拶の後、ふくしまキッズの子ども達全員起立して、愛媛の皆さんにお礼を言いました。空港には、年末にかかわってくれた学生も見送りに駆けつけてくれました。子ども達は大喜びで、しっかりと絆が育っていると感じました。涙、涙のお別れでした。でもこれは再開を約束する涙なのかもしれません。希望の涙、きらきらと輝いていた涙であったと思います。





ふくしまキッズ2012春 北海道Report

■北海道プログラム参加者:28名

■支援金募金:99件 ■参加ボランティア:210名

■ホームステイ家庭:6世帯 ■協力スタッフ:12名

■協力関連団体:NPO・NGO:3法人・地域協議会・団体:2団体

民間法人:13企業・協会:3団体・自治体:4団体・その他:1団体

■北海道プログラムのテーマは「夏の林間学校に向けてのチャレンジ」でした。いろいろな活動がありましたが、JR北海道の協力で作上げたフリーパス(上の写真)です。この切符で北海道各地の「フィールドトリップ」に出かけました。子どもたちは3月25日に七飯町の大沼に到着し、学生ボランティアや地域スタッフに出迎えられて、翌日早速フィールドトリップの計画作りが始まりました。チームになる練習、拍手の回数で仲間集めてみんなで話し合い、北海道のイメージをあげてからプレゼンです。各地域見所満載! 見所を紹介する毎に歓声が上がりました。しかし、予想以上に北海道は広く、2泊3日の様々な条件を考えて断腸のおもいで「道南・道央エリア」に限定しました。子どもたちがネットなどで調べ、時刻表やガイドブックを読んだりするワクワクを叶えてあげられないと思うと、本当に申し訳なく悔しい思いでいっぱいでした。

範囲は狭くなってしまったけれど、北海道スタッフの総力を結集したガイドブックにはない7つの旅①むかわ町:地球体験館で化石のレプリカ作り。穂別名物ロケット Sauna。②札幌市:Steven's Stableで乗馬&英語のファームステイ。③倶知安町:自然生活体験館冒険家族で、薪割り&五右衛門風呂でかまくら泊。④森町・濁川温泉:農村留学農家体験&天然温泉。⑤長万部町&せたな町:温泉で暖まって丸金旅館に泊まる。かめにしにピッツァ作り。⑥江差町:かもめ島探検をして開陽丸の勉強。江差追分体験。⑦奥尻町(離島):うにまる君の歓迎を受け、ほっけすり身づくり。》を提案できました。熱のこもったプレゼンを見た後、子どもたちは我がままを言う事もなく、ひたすら話し合いで公明正大にグループを決めていきました。夢やイメージを現実にするためには、いろいろ考えて議論する事が必要なのでしょうね。話し合うプロセス…コミュニケーションこそが自己表現に必要な能力なんだと実感したとともに、そんな能力を自分たちで高め合っている姿に感動しました。また夏に子どもたちと大沼で会えるのを楽しみに、万全の準備をして待っています。



三浦Report

■参加者:32名 ■参加ボランティア:136名

■協力スタッフ:15名 ■協力関連団体:NPO・

NGO:2法人・民間法人:6企業・協会:1団体・大学・高等学校関係:9校
財団法人:7法人・自治体:5団体・その他:7団体

■3月25日:金沢動物園で神奈川県の子どもたちと合流して見学しました。その後一緒に宿泊先の三浦ふれあいの村に向かいました。

■3月26日:温暖な気候を活かした海での活動です。ビーチコーミング(海岸の漂着物観察)と磯の生きもの観察、午後からビーチハイキングに出かけました。神奈川県立海洋科学高校の生徒さんも一緒に活動に参加して下さいました。

■3月27日:午前中は平塚農業高校初声分校で2頭の牛に触れ、温室トマトを頬張りました。午後はビーチ相撲&プロレス。ビーチフラッグス。ビーチランニング。ビーチクリーンも行いました。

■3月28日:標高242mの大楠山のハイキング。「おおくすエコミュージアムの会」の皆さんと地元につながる童話の紙芝居や地球運びリレーやゲームを行いました。

■3月29日:三崎漁港では漁協の「うろこ会」がみんなを案内してくださいました。100kgマグロの解体を見た後、それを昼食で完食。午後からは油壺マリンパークと水族館で盛り上がりました。

■3月30日:午前中は三浦ふれあいの村の周辺でクイズが仕組まれた散策「ウォークラリー」。みんな一生懸命歩き、誰一人としてあきらめることなく、全員でゴールをすることができました。

午後は、福を招く大漁旗「福来旗(ふらいき)」を作りました。

■3月31日:大運動会はあいにくのお天気で、初声小学校の体育館をお借りしての開催となりました。大縄跳び、定番の綱引き、チーム一丸となって力を合わせてがんばりました。

■4月1日:最終日はバスで鎌倉に行き散策です。そして、仲良くなったボランティアの方々とのお別れです。「また会える、きっと会える、また遊ぼう! ぜったい遊ぼう!」三浦に遊びに来てくれて本当にありがとう。また、思いっきり遊ぼう!





塩尻Report

■塩尻プログラム参加者:32名

■参加ボランティア:61名

■協力スタッフ:4名 ■協力関連団体:NPO・NGO:2法人・地域協議会・団体:1団体 民間法人:13企業・大学:1校・自治体:1団体

■信州塩尻のプログラムは、地域の方々と交流することに主眼を置きました。諏訪神社の御柱祭りに出演する歴史と伝統ある和太鼓グループや奇術とピエロの同好会など、地元の暖かい受け入れが実現できたのは、塩尻市の積極的な姿勢にありました。宿泊した施設は市から無料で提供され、地元自治体の理解で、区長さんが積極的に市民の姿勢が変わります。食事は、地元のお母さんボランティアが大活躍しました。信州・山梨大学ボランティアの学習指導、東京・埼玉・兵庫からのボランティアやベトナム、カナダ、などからの留学生も集まり、モンゴルの留学生バヤラさんが、馬頭琴の演奏をしてくれました。子どもたちは、教科書に「スーホの白い馬」が載っているので興味津々でした。また、名門塩嶺カントリーゴルフ場のいくつかのコースを使わせていただき、サッカー、フリスビー、土手すべり、キャッチボールそしてゴルフを体験しました。

地域の子どもたちとの交流も積極的に行われました。28日に行われた松本市開明小学校6年5組の子どもたちは、実行委員会が一番会いたかった子どもたちでした。それは、昨年の夏に、子どもたちが自分たちで家の手伝いをして貯めた7,150円に、一人ひとりが手紙を添えてを贈ってくれたこの支援金ほど感動したものはありません。その後も学校の檜で箸を作り、それを売ってためたお金を送ってくれました。今回はその箸作りをふくしまキッズのために教えに来てくれたのです。「今も福島ของ皆さんは大変だと思いますが、僕らもがんばりますから、これから一緒に日本のためにがんばりましょう」という言葉をくれました。桔梗小学校、都立大塩尻高女子バスケット部の交流、信州農業公園「チロルの森」での体験、ツリークライミングにも挑戦しました。最後には、お別れ会に泣いている男の子を見て、私たちは、まだ帰したくないと感じました。だからまた是非来て欲しいと思います。



飛騨高山Report

■参加者:32名 ■参加ボランティア:136名 ■協力スタッフ:15名

■協力関連団体:NPO・NGO:2法人・民間法人:6企業・協会:1 団体・大学・高等学校関係:9校 財団法人:7法人・自治体:5団体・その他:7団体

■人との交流:ボランティアの中心になってくれたのが岐阜女子大学の学生です。そして、東京、大阪や地元東海地区からも学生が参加し5泊6日の全行程と一緒に活動してくれました。そして、東海地方で募集された12名の子どもたちがふくしまキッズと一緒に活動しました。さらに、参加希望が多いため抽選で選ばれた飛騨高山の子どもたちもたくさん参加しました。

ハイキングは雨のために体育館での活動となってしまいましたが、元気に皆活動していましたし、「子ども熟議」では「今子どもに何が出来るか」をテーマとして熱心に話し合いました。今回のテーマは東日本大震災を受け、『今、自分にできることは何か』。高山市の子どもたちに「どうしてふくしまキッズの熟議に参加しようと思いましたか?」という質問。福島の子どもたちからは、生活・学校の友達・安心して遊べないことなどいろいろな意見が交換できました。『今、自分にできることは何か』という問いに対して子どもたちははっきりした意見を発表することができました。

民宿のお母さん達との交流も大きな意味を持っていました。

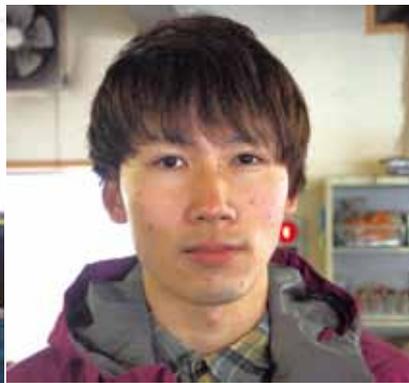
■文化・体験:さまざまな文化を体験しました。陣屋で学芸員の先生に江戸時代の歴史を教えてもらったり、雨の中でもバスでの移動が出来ましたので散策を楽しむことが出来ました。アップルパイづくり・マイはしづくり・さるぼぼづくり、そして自分たちが食べるそば打ちなど色々な体験もしました。芸術家の中島法見さんのパフォーマンスではみんな息をのんで見入っていましたが、そのあと自分の5日間の思い出を文字にして貼り付けました。そして、写真のような大きな、大きな思い出の桜の木が出来上がりました!

元看護師長の中島さん、地元のNPOの方々や企業の方、高山市教育委員会の方々、垂井町教育委員会の方々にも本当にお世話になりました。改めて御礼を申し上げます。





ボランティアの活動



“てつ” 崎川 哲一（北海道大学）

震災が起こった時から、何かしたいとは思っていたけど、出来なかった。このままじゃ忘れてしまうと思って、勇気を出して参加した。初めてのボランティア経験だったが、高い意識を持つ人たちと一緒に活動して影響を受けた。自分から動くことが、簡単なんだと分かった。また、食事や生活サポートなど裏方の活動をしていたが、子どもたちに自分の気持ちが伝わっていたと思った。

事前のミーティングでお互いのことを知りながら、自分たちの手でマニュアルなどを作成するので、大方野流れについて理解が深まり、責任感と達成感が生まれました！

全然笑わなかった子が良く笑うようになって、新幹線で帰っていくときには泣いてくれたのは印象的でした！



“みず”平岡瑞恵（北海道教育大学札幌校）

期間中に、親書を読めたことが大きかった。自分が考えていたよりも、ふくしまキッズに希望を持っている人の多さを知って、心構えの変化になった。支援活動に、「今さら」はないと思った。ふくしまキッズへの参加は、震災から何年経っても、価値あるものになると思う。次は、初めて参加したボランティアが活動しやすいように準備から関わりたい。





“おばま” 大場彩夏(北海道大学)

ふくしまキッズは、出会いがすごい。震災後、なにか出来ることはないかともやもやしており、自分に出来ることは、子どもと遊ぶことだと思い参加した。

しかし、普段会うことのない人と出会えたり、仲間が出来たり、運営などの勉強になったりと、自分も成長できる機会となった。子どもたちにとっても、それを支えるボランティアにも学ぶことが多く、本当にいいプロジェクトだと思った。



被災地には行けないけれど、住んでいる地元で力になれると、時間の許す限り家から通って食事チームのサポートをしました。時には子どもたちの悩みを聞いたり、絵本を読んだり…。

大好きなこの場所で、子どもたちが癒されているのが嬉しかった。世代も住むところも違う人たちが集まり「ふくしまキッズ」を支えるのも喜びです。



自分が住んでいる地域で、若者と子どもと大人と街が一つになれたことに感動!

これまでの協賛企業

株式会社旺文社
 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
 吉野家
 ソニー株式会社
 東芝

2011 夏の特別支援団体

ジャパンソサエティー
 稲森財団
 東日本大震災復興支援財団

2011 夏 北海道の協力団体

NPO あぶくまエヌエスネット
 NPO 教育支援協会
 NPO ねおす
 NPO 教育支援協会北海道
 NPO スタニティ
 社団法人 子どものチカラ研究会
 NPO 放課後アフタースクール
 NPO 夢職人
 北海道旅客鉄道株式会社
 NPO 大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター
 北海道
 北海道教育委員会
 七飯町
 北海道公民館協会
 北海道教育大学
 横浜市
 横浜市子ども支援協議会
 NPO 楠木学園
 愛媛県
 新居浜市
 今治市
 大洲市
 西予市
 日本財団 CANPAN センター
 ホーマック株式会社

2011 夏 北海道の支援者 (物資等)

〈運営本部〉
 牛丼 8000 食分 (白米つき) (株)吉野家
 学習教材及び辞書 4650 冊 (株)旺文社
 ふくしまキッズオリジナルバンダナ 500 枚
 (株)ゴールドウィン

〈松前〉
 420,000 円 農水省平成 24 年度
 食と地域の交流促進対策交付金
 〈東川町〉
 122,000 円 宿泊費 東川町
 663,000 円 プログラム運営費
 グランドパーク西神楽
 〈弟子屈〉
 176,000 円 弟子屈町役場
 〈大樹〉
 816,000 円 トステム財団
 〈黒松内町〉 歓迎パーティー・プール使
 用料・クラフト制作費免除 移動バス
 の提供 黒松内町
 〈浦河〉
 歓迎会の実施・移動バスの提供・昼食
 提供・サッカー、野球クラブへの参加・
 看板の作成・乗馬プログラム実施・郷
 土資料館、馬事資料館見学
 地域かたの支援
 〈下川町〉
 491,479 円 地域からの寄付金
 21,000 円 支援呼びかけ折り込み
 チラシ かりや、各新聞店
 20,500 円 トロッコ王国入場料
 トロッコ王国
 1,760 円 コミュニティセンター使用料
 仁宇布自治会
 23,100 円 昼食代 アポロ
 42,120 円 施設使用料
 4,000 円 施設使用料 名寄市
 18,000 円 昼食代 サポート
 63,750 円 宿泊費 五味温泉
 9,200 円 クリーニング
 10,560 円 食料代 自治労下川町
 2,400 円 水泳帽 阿部さん
 移動バスの提供 地域かたの支援
 〈いぶり自然学校〉
 プール・体育館の使用・かなやマスポ
 ーツ研修センター 地域かたの支援
 〈根室〉
 移動バスの提供・北方領土に関する講
 演・根室市教育委員会・ドラム缶風呂
 貸し出し 根室市教育委員会
 アサリの潮干狩り提供歯舞漁業協同組合
 昆布干し体験とおみやげ提供鈴木さん

番屋の提供 高橋さん
 移動バスの提供 登別市
 のぼりべつ牛乳の提供のぼりべつ酪農館
 おみやげ提供 鬼なびステーション
 宿泊費の割引 登別グランドホテル
 魚介類購入の割引
 いぶり中央漁業協同組合
 プログラム代の割引 やきとり一平
 歓迎会の実施 登別青年会
 デザートの提供 福澤さん
 フルーツの提供 酒井さん
 フルーツの提供 武者さん
 合計 2,904,869
 ※上記の記録に残せたものの他に、個別
 にいただいた差し入れが多くありました。

2011 夏 北海道の支援者 (物資等)

5月30日 ケイ マコ
 アンドウアツコ
 5月31日 ヨシダ ヒロヒコ
 オヤジユウ
 6月2日 伊加ヤサシ
 マツカ ヨウコ
 6月3日 カ)ダ ウインチンサツ
 ドバシユキ
 秋ダミエコ
 シヤ) シンチユウカガツコ
 ミルク マドカ
 エビケンイ
 アイザワマキ
 シムラトモコ
 ナカムラ ミキ
 ゴトウヨシアキ
 ミズクミ
 ヤマザキタツミ
 ヤマザキリエコ
 ナイケイサカ
 サウシ
 柘モマキ
 ヤマシタ イヅミ
 6月6日 ヨシダ ヒロヒコ
 ヨシノ エミコ
 モチヅキ リコ
 ヨシダ ケンサカ
 カネツナ ヒサコ
 ワタベ ヨウコ

6月7日	サトウ マサコ ニシジマ キヨウコ フジワラ サチエ キタシロ カクタロウ (ニホン IB ソダ ミヤ ワダ マサシ イレイ ハルナ イノマタ ノブコ シマミネ ヨシキヨ カンノ アツシ トクシマ ユイコ サカイ ユキ トウホクセイミツコウキヨウ (カ アマノオコ タカオ ヨシアキ		ナゲチヨシコ スガワラ ケイコ マツウラ リウウイチ アカイケヤスヒロ ヨシザワ サチエ ハシモト ヨシオ ヤマケチ セツコ マスタニ カズヨ イカイ トモエ ウエダ エツコ クボニワ カズヨシ イタヤヨシコ コサキ カコ ナイトウ フミコ タナカ ユキコ マツウラ ユカリ コウチ エミコ		ホンダ ヨシエ フジオカ アキオ イタミ タカシ カネコ マドカ イイダ セイジ サトウ ユタカ イシイ ノボル イシゲロ ユウコ ヒラモトミエコ オオタ アキコ トヨタ ユミ ツツダ アツコ サトウ オサム ガ - ルスカウトホツカイトウシ タカキ ミホ トウキョウタナカタンキタイガ ミツイシミツコ オカサカ ヨウコ ワタナベ エキコ アサノ ユウコ モンゼン ヨウスケ オシダ ナミコ フジイ サヤカ キノタリコ カンバヤシ ミドリ ノダ ヨウコ ミヤモト マキ	カシワギ トモコ エンドウ チエコ マツザキ ユウシ イワナガ ミツエ ボウウン イタダ マサリ ミチコ ホシノ モリオ オノ ヒロコ タカミ ヒデト サトウ ミツオ タニ モモヨ ムラカミアサコ ノダ マユミ アウリンエイコ キョウシツ	
6月8日	サカシタムツミ ハヤシ ツトム ハヤカワユミ タナカ ヤスコ	6月13日	マツザワ マサミ ツムラヤ ユカ フジモト ケン カタヤマ トモコ ヤマカワ タケシ カワシマ チサト フジタ セイイチ アサダ カズノリ イシムラ ゲンセイ タシロ アサコ サイトウ ヤスユキ テラオ ユキエ カリヤ マサト ウダ ガワキミ マツダ アキ オケラ アキコ カドケラマサミ ゴトウ ユミコ サイトウ カズヒコ カタオカ ユウコ オカダ ケンイチロウ キタダ ショウコ ミヤモト シンイチロウ ホツカイトウ コウミンカンキョウ キジマ ミツエ ニシヤマ ヨウコ マツダ ヒサコ クワカワ ヨウコ ハシモト ソコ	6月14日	ミヤウチトシフミ フルタ ヒデカツ ウチダカズヒロ タニガワマツヨシ ツカモトシゲミ ハイカワ ノリヨシ ナツイ ユキノ タナカ ノリコ オオタ ヒサミ ミチヒロユウジ マリコ ヤマモト エミコ スズキ ノリコ イトセ ナオコ タナカ ヒロノ ナカガワ アツコ シゲタ ユキコ ミヤタケ カヨコ トケビ) ケリ - ソウツドシゲ	6月16日	カンノ ヨウコ フジイ チカコ アチヤカワエシナガワ マナミ カメダ アキコ ヨシダ ヒロヒコ ヤマザキ ハナエ ミカミ エリコ アキ キヨシ クノ イクコ ミヨシ ナオコ モリヤ マユミ スズキ マサコ ミヤケ ヨシカズ トヨタ マサモ イナガキ メグミ キクタ ハルカ カガワ エンザ ショウユウシ ウガタニ ノブミ シマダ ヒロユキ ウエダ ヨシコ マツモトシホクア コウミンカン ハラ タカシ
6月9日	トヨタ サトミ ヨシオカ シンジ キリヤ シズカ ヤマケチ チカコ オカ ナオ タカシマ ヒロミ オノセ アサコ テラオカオリ ノダ マスミ			6月15日	サトウ セイイチ		
6月10日	ヒラノ シゲル モリタ ミホ マスノ マサヒロ タカノ イクコ コシミチ ワカナ アバニム オカノ チエ カネコ ヨシアキ ニツタ ハルコ ゴトウ ミツヨ オカザキ エイコ エンドウ ルミ ヨシイ ショウコ オノゲチ アイ シチダ コウナンキョウシツ イシダ ジュン ニシムラヨシノ					6月17日	シゲエダ ハルミ ロクノ シゲユキ セガワ リカコ オオカツ エリコ ホツカイトウ ナナエウゴガ タゲチ ナオコ シオヤマ カズヒコ キノシタ シゲカズ フジオカキヨシ ナカジマ ヒロコ

ハシモ ミチヨ マスモキヨウコ コタジマサイコ ツツミ ショウコ ハタエイゴキョウシツ ウエダ ノリキ ハヤシ ユリコ 6月20日 コウタ ユリ ナリカワ サキコ イワハシ アキエ ミヤケ カズコ サトウ ヤスコ イタニ フミアキ ミミ ノリオ オカムラ オサム タケウチ シュウジ アオヌマ ノブユキ サトウ タツシ イグマ ヒトミ コバヤシ ユカリ カマチ エミ カミカワ ノブヒサ ウエハラ ユキコ イシダ テタオ ヨシダ ヒロヒコ イシジ マススム タケウチ マスミ ムカイ ユリコ ウエスキ アツコ ホンダ イサオ シジド カオリ 6月21日 ヒラノ ユカ シジド ジュンコ フジモト アキコ トネヌマバ ンチャ - クラブ カワハラツツカ カツヨシ ハギハラ アツシ ツキシ フミ スズキ アケミ ハマダ セイジ サツボロモウガ ツコウ サカモト ヒロフミ センタ - ビルシカイイン ミナミ ヨシダ ヒロヒコ セタ タコ ノモト マミ	ホツカイドウビ フカウトウヨ オオシ ドリ 6月22日 マツバラ ヒデカズ ウエダ ミキ クズルイコ タカカ エイコ ウエイ ヨシノリ テラシマ マユミ ヨシミ アシホ ホツカ カズエ アキタ リカコ カワアイ ヒロヨシ イトウ ジュンコ キムヨウフビ タカカミコ ヒムロ ジュンコ ツボイ カズユキ イテ ルミ シノハラ ケンジ ドウガキ ユミ ワキ トシアキ タオカ シンゴ サトウ ジュンコ タカハシ ナオミ NPO スタニテイ タケイ ユカ 6月23日 タケダ ソウウン イシイ モリオ ヤスダ ユウコ キタムラ リエ テラオカ シュウジ ロウ マキノ ミツオ イタミ チアキ ミゾグチ コウジ コウザイ ハルヒコ カ)イ-オンイ-ストジヤ コヤマ リユウハイ ヨシモト マホコ オク マリ キムラ ケイコ イ-オン タカカ ヤマモト ノリコ シフヤ ユカ イズミ ケイコ ツチヤマ フジミ 6月24日 オオガネ ヨウコ	オオモリ サトミ エイトウイ - オン ウツミヤコ ミナト タツシ カノウ キサト CHUO-UNI ヒラマ アズサ キクチ マユミ マツダ ジュンコ カツダ アヤコ グリーンコウリウカイトラニ ホツカイドウコウミンカンキョウ ヤナギモト カツミ ヤマカワ カツコ ササザキ トヨコ サツボロシコウサイケレン ゴウダイ15ブンクチュウナイカイ カナナイ マサコ マツダ ヤスコ シミズ ユミコ サツボロシコウサイケダイ15ブン クチュウナイカイパークゴルフカイ 6月27日 タカハシ ケイコ ミミ ナオコ カノウ キョウジ アリガ コウジ ハヤシ ヒトミ イタノ サチコ タケサワ ヨウコ オカジ マヒサヨ ツツダ カナコ アルク KC HIRO E 毛利 クラタ ユカ フジイ ユウコ アマノアツオ ワタナベ ケイコ オビヒロシ ガツコウキョウイ オオハシ ミカエ タカハシ ミユキ ヌマ マサコ シライシ シ メイコウキセツ (カ) マゴオリ ハルミ マゴオリ フクシマノゴト モオマモロウフ ビ - ズサ - クルミルアイ - ユ ヒラタ マサコ ナガオカ ケン イマイ サナエ	クリヤ トシオ オオサカ ユキ サクマ レイコ サトウ フミコ 6月28日 タカハシ ミユキ ヌマ マサコ シライシ シ メイコウキセツ (カ) マゴオリ ハルミ マゴオリ フクシマノゴト モオマモロウフ ビ - ズサ - クルミルアイ - ユ ヒラタ マサコ オオウラ シズコ トミオカ ヒデノリ ホリ コウジ オオタキ アケミ サトウ フミコ 6月29日 ヤマキ ミホ AEON EASTJAPAN コンドウ ヨウコ オザキ ヨウコ ニシザワ カツエ スガワラ ユキ イシダ トシハル オオツキ トモコ スズキ カナミ イナムラ イコ ワダ アユコ 6月30日 カ) キツツ ヨコヤマ ケイコ クラタ ジュンコ カ)イ-オンウエストジヤパン ハシモト ヒロミ サトウ ナオキ イ-オンタケフコウ ヤマダキミコ キノシタアキコ キノシタアキコ ミヤザキヒロフミ ミヤザキキョウコ ホシカワチヒロ ミナミミホ 7月1日 スエヤマサチカ ワタナベ ユリコ ヤマモト サチコ モリタ シゲオ
---	---	---	--

ヨシダ ヒロミ	セコンチクウミンカンキョウト	スズキ キヨ	ヒロシゲ クニコ
サコウ ユウスケ	ミズノ 知比古	コバヤシマサヨシ	7月20日 木村 芳江
サイトウ トシノブ	ヒラガ マリコ	ヒガシヤマタカシ	ギフケンタルイチョウキョウ
ヤマモト ケイスケ	タカハシ カズオ	コボリヒトシ	インユウシイチドウ
スガワラ ケンイチ	テラダ ルツコ	オノデラユウスケ	アサヌマ マコト
セキ フクオ	イチオカ ヒデトシ	オクムラ アキコ	ヒラサワ マリコ
ヤシマシヨウテン	カンダ ハルエ	ヤマグチタカヒロ	ワカバヤシ アイ
ナカニシ シゲル	7月8日 イノウエ ナミ	ホカイトウキョウクイイカ	カ) プンシヨウドウ
タナベ キョウコ	オオニシ ノリコ	ヒゴ マサト	コバヤシ キヨシ
ワラヤ タコ	オオニシタエコ	ナカジ ヨウテロ	カ) プンシヨウドウ
7月4日 ウチムラ アキ	ヨシダシゲコ	K ヲノヰヤパン	7月21日 木村 芳江
コダ マサカズ	イトウサダヨシ	7月14日 CRESCENDO	ムラオ ミチ
ハコダ カツヨシ	ヤマグチタケシ	ユウマリエ	7月22日 コバヤシキヨシ
ハシモト ヒロキ	カワサキヒサコスギシ	ジョウモントモノカイ	エスエルユウシ
イダ ヨウカ	イワセアイ	ヤシマシヨウテン	オオツカウコ
コテラヒロミ	アサキサチ	ナガイ マサコ	キムラウキウシ
クレバヤシアキコ	タケチエミ	7月15日 クラミ ユキ	トシヨウビルサベ
コシミチワカナ	キョウクシエン カガリ	ミツバチ ミマタジ ヨウエイ	カ) キンデン
ムロイミキ	7月11日 タカタ アキコ	アマノオ	カ) ホカイトウベツト
タニグチハルミ	ウチダ ケンイチ	リツキョウダ 信 信 信	カ) アサキツヨウシ
ハセガワサナエ	HESINTERNATI	ワタベキミ	ユ) 信 信 信 信 信
コマザキヤエコ	STUNITY ガクセ	ワツカイトウカ ツコウ	ユ) インテックシヨウキ
タムラ サチコ	ハセガワ カズヨ	ツボラヤ- テンテンド	ヤセツタツコ
タニグチハルミ	ハイアツシ	ゲジ タカアキ	ヨシダ ヒロヒコ
ハセガワサナエ	ナカジ マサシ	ビョウシツ SUMIL	キョウエイブンコウ
タムラサチコ	カダ マサフミ	タカツラミキコ	7月25日 アルプス ツリユウシ
ハマトンバ ツコウカ ツコウ	シマダ ヨシコ	イシイトモコ	アゲイ 信
7月5日 サコ マチル	ウチダ エコ	ムロイカズヨ	ヨシナガ トモコ
CLUB-RT フクシマツ- リン	ナカジ ツネ	タチカワナオキ	ツチヤ ショウコ
ミト マサシ	フクシマキツズ 木村 信	コンノエイタロウ	カ) レイヤーズ コソ
マエカワ ユキエ	7月12日 オオタ ヤスコ	7月19日 ナカ ケイ	ナカジ マサコ
シズカワ ケイコ	ヤマダ マサト	カノウズミ	エムピ- アイトオサカケンキョウ
7月6日 ヨシミヒト	カエルアドベンチャー	アノウズヨ	ナカガリ カズヒロ
ハタケヤマ サチ	アオゾラエン	ヤマグチ ミズエ	ミト マサシ
ワラノウチヨウカイダ化	タナカ イタル	イトウ ミ	タカイ ユキコ
マルオ ヨウコ	アライ タイコ	イダ キヨミ	7月26日 ヤマト アキ
ゴトウ タカミ	シズナオ	シヅゲチヒサミ	サークルアース
カンノ クミ	ヨネダ マコト	イチャナキ ケニコ	オノ クミ
ツチダ マキコ	ガイクウサキ	デグチトシサ	イカハ リコ
モリタ ミホ	ヨシモト ヒデオ	マツマエキョウキョウクイイカ	テラオサキ
カワノ トモコ	ナカヤマ ヒロシ	カハラ マサミ	クラミ ユキ
ワタナベ ユミコ	ハコダテロウカ ツコウシンボ	キクチ マナミ	サキ ケ
7月7日 スズキ カル	ナカ マリ	ハヤシ ルミ	アリカイ ナカミ
エシ ショウジ	7月13日 オノ ミユキ	ノリエ	ワラヤ タコ
タカハシキョウ	スズキ ヨシハル	シミズ トシユキ	7月27日 ワタベ カズヤ
エノト マチ	ナカオ ユミ	ナカムラ トキコ	コウ ユキ

7月28日	クワカヨク ワタハカズ コウキコ ワコツルカワヨウチン カダリヒサ マコヒロ ヤキハル 7月29日 ルジュンイ ムカハラキ SMILE PROJEC コムロカズ ヨシダツム タカマレ ヤマダトアキ カ)ニホキソク 8月1日 シヨウヒサ ジヤパンインタ-ナショナル シ-テイ-エヌプロウシヨウ ヤコマキ イゴウカレミ イクラアキ ヤコタダシ ケラコトヒロハ 8月2日 シズル ハラダアキ コヤマヒト イワコウイ ハトリアキ 8月4日 ホッカドウタカスヨウガ チヨウワルヤジクラブ-ヤマ タコウケ ガクセダンタイST 8月5日 タダシヨウ ウイソフラインダ イムラナコ 8月8日 ホウイナ ホッカドウキヨウコウカ 佐々木英暢 ABCJamboree アカシマミ 8月9日 ハマダカ 武藤十紅美 タダミツサ 8月10日 佐々木あや 柳澤直子 カ)テラキ	8月11日 原井亜紀 ザイ)イサダ 8月12日 木村ハルミ 8月15日 水原ユウキ ソガチウガッコウ ナエチヨウカクイソウシヤ セウツラフサカシブチ 福田智子 ホッカドウコウコウガク 8月16日 ハラダアキ 8月17日 原田孝二 ミウラシテジノチヨウコ 8月18日 谷尚憲 ナカノヒト 8月19日 マスカワ ヒロアキ 小柳晶嗣 8月20日 功)ウズルヒキヨウカイ 8月21日 和泉友喜 8月23日 ミトタシ 8月24日 キタジマヨシ アダウコ 8月25日 タカカ ハヤカアキ ニシタキ スズキアキ 8月26日 ス-ヌイキムヒデ 有本達也 8月27日 出口香穂里 8月29日 アルクKC HIRO Eモリ 8月30日 キタコウイユカリカ ヒガニホダインソウイッコウ エダダ 8月31日 ヒダカウツカイ トコウツガツコウ カ)トウシホシヤ	NPO あぶくまエヌエスネット NPO 教育支援協会 NPO ねおす NPO 教育支援協会北海道 社団法人子どものチカラ研究会 NPO スタニティ NPO 放課後アフタースクール NPO 夢職人 北海道旅客鉄道株式会社 北海道 北海道教育委員会 七飯町 北海道公民館協会 北海道教育大学 横浜市 横浜市子ども支援協議会 NPO 楠木学園 愛媛県 こどもの絆プロジェクト 新居浜市 今治市 大洲市 西予市 日本財団 CANPAN センター 環境 NGOezorock 大沼ふるさと森自然学校 NPO 大沼駒ヶ岳ふるさとづくり センター 2011 冬の愛媛支援者(物資等) 決算書に明記したものを除いた支援金 〈運営本部〉 500 ml 14 ケース 2 l 6 ケース 四国コココーラ 〈新居浜市〉 お菓子 田中クリニック 飲料水、お菓子 久保 お菓子、飾り 竹内 宏江 お手玉 松山 明子 お菓子 高津 章人 〈今治市〉 28日昼食 桜井婦人会 29日焼肉用 肉 利鳳園 30日夜食事用 宮窪漁師 30日夜食事用 大三島漁協	30日夜食事用 仲渡 米30キロ、もち米60キロ 大野監督 ロールケーキ30人分 大西屋 森永詰合せ1ケース 天南堂 お菓子7ケース アリスタ木曾 タオル50枚 ハートウェル 縄跳び30本 クアハウス越智 29日夕食、30日朝食 食事 材料 匿名希望 30日夕食、31日朝食 食事 材料 匿名希望 タオル23枚 平林 元樹 どら焼き30個 イマジン美容室 今治ラーメンセット43人分 今治ラーメン普及委員会 入館料 タオル美術館 しまなみふれあい交流館宿泊費 今治市教育委員会 入館料 クアハウス今治 遊具使用料 湯ノ浦ハイツ 鍋スープ、ドレッシング 日本食研 〈砥部町〉 砥部動物園入園料 砥部動物園 〈愛媛県〉 飛行機代、バス代、別子山宿 泊代 ■寄付金 えひめ愛顔の助け合い基金 今治市 PTA 連合会 横手英彦 にぎやか市 in 歓喜庵 いきいきまさきっこボランティア 藤長 高松善雄 匿名希望 別宮校区文化祭実行委員会 常盤校区文化祭 大洲街づくりフリーサロン 伊予市カタリバ 地域教育実践研究集会 宇和町小学校職員 河合都由美 桜井漆器 匿名希望 桜井公民館住民祭
-------	--	---	--	---

建設業協会 青野岩夫 教育推進会議 年輪塾 柳沢公民館 地域づくり人養成講座生一同 あまはげてんごの会 桜井団地婦人会 西日本石油 今村イトコ きらら代表 織田恵美子 梁田美代子 潮冷熱株式会社 松下政経塾 村上正子 大洲市大和公民館 アカマツヨシヒト 田中内科クリニック イマジン美容室 大木敏郎 別子山東自治会 山田蒲鉾 黒川睦三 高木一晃 国際ソロプチミスト 匿名希望 しまなみご当地グルメ研究会 芥川邦男 桜井公民館募金箱 今治地方観光協会 寄付金 合計 3,156,664 円	ごはんの素 190g 13 袋・ふき 水煮 200g15 袋・わらび水煮 80g 12 袋 占冠村長 中村 博 じゃがいも 40kg 公民館海援隊 俱知安町公民館 バター 200g10 個 矢吹 俊男 アイナメ 30 匹 石塚 彦雄 水 2L × 6 本 × 34 箱 株式会社ワッツ 牛乳 1ℓ × 6 個 × 19 箱 阿寒農業協同組合 小田急フリーパス (子) × 7 枚 箱根町 観光課 小田急フリーパス (大人) × 13 枚 芦ノ湖遊覧通行手形 (子) × 7 枚 芦ノ湖遊覧通行手形 (大人) × 13 枚 箱根のんびりクーポン 20 冊 箱根交通の時刻表 21 冊 箱根町 観光課 会場手配・活動場所選定支援 横浜市こども青少年局 施設利用への便宜 財団法人横浜市体育協会 現地送り迎えスタッフ支援 学生団体 STUNITY 活動プログラム企画・実施 放課後 NPO アフタースクール 広報支援 横浜子ども支援協議会 施設協力 横浜市立文庫小学校 施設協力 JAXA (宇宙航空開発機構) 施設協力 八景島シーパラダイス 正月滞在者支援 横浜ウィークリーマンション イベント支援 パナソニックエンジェルス イベント支援 横浜 F マリノス イベント支援 横浜 B コルセアーズ 〈運営本部〉	三浦プログラム担当 NPO オーシャン ファミリー海洋自然体験センター 〈三浦サイト〉 米 NPO 法人里山公文名ファイブ 米 西田純子 しらす ハヤシアツム しらす、ひじき 真一丸 食材、燃料の提供 海をつくる会 食材、燃料の提供 江成卓史 牛乳・りんごジュース (各 80)、 食材の提供 光明優輝 野菜の提供 鈴木清道 (鈴角農園) 豚汁材料 高橋朋子 豚汁調味料 金宮美保子 食パン 阿部昭子 ゆでたまご 大西雅子 リンゴジャム 新井登美子 旭屋コロッケ 池田、黒岩、中尾 お惣菜 (春巻き・唐揚げ)・ 五目チラシの素 (有) ダイゼングループ 水 (500ml ペット) 稲垣宏美 水・炭酸飲料 大塚食品 株式会社 水 吉田康人 焼き菓子 松下朋子 焼き菓子 (マドレーヌ) 宮村香代子 マフィン 石岡美茂 携帯カイロ、水 (2L ペット) 吉田康人 みかん 太田順子 りんご 佐野いつみ 貸ふとんレンタル代金 金沢白百合幼稚園 理事長 松野茂 アイスクリーム BR サーティーワンアイスクリーム株式会社 日焼け止め 資生堂薬品株式会社 食材 (パスタ、梅干し、里芋) 匿名希望 ペーパータオル 匿名希望	焼き菓子 鎌倉フェスタ お弁当パックの提供 萩島敦子 みかん 柴田冬美 ふきん 鈴木直美 ふきん 宮崎まや子 図書カード / 1 人 渡部かなえ フルーツ、ジュース提供 フルーツグローア-澤登 澤登芳 フルーツ、ジュース提供 恵泉女学園大学 澤登早苗 お菓子 匿名希望 広報、宿泊管理ほか おうちえん Telacoya921 代表 中尾薫 広報、指導管理 コア アウトフィッターズ 代表 山口浩也 宿泊協力 東京薬業健康保険組合魚藍荘 宿泊協力 葉山町一色第一町内会 指導協力他 葉山トライアスロン協会 代表 彦井浩孝 ■寄付金 オグラヒサイチ ㈱龍盛貿易 尾鼻明子 海野かして 寄付金 小野弘善 山本宏明 高橋康子 鈴木郁夫・直美・茉琳 葉山中学校昭和 55 年度 卒業生秋の宴有志 宮澤悦子 コンシゲユキ 人見知子 江成卓史 鈴木貴美子 安倍寿生 原なおみ 小林正典 田中七子 金宮美保子
---	--	--	---

横山尚多香	食器 七飯町青少年センター	9月12日	コバシリヨセタ-和フクシマキッズオウエン	メディアファクトリー出版
中村恭子	ユートピア大沼			事業部有志
永谷英暁	モミ・トドマツ精油	9月18日	原田 孝二	曾田 美也
カネコヤスコ	揮発用陶器	9月21日	わか 雅弘	10月26日
オйкаウトモコ	NPO 法人「森の生活」奈須	9月26日	近藤 幸	10月27日
長田史耕	米 花井ふぁ〜夢		長谷川 良子	10月27日
渋谷マリ	米 学校法人原学園	9月27日	ヤマザキオ	10月31日
寺田千寿子	ひかりの国幼稚園	9月29日	ミト 妙子	11月1日
座間淳子	米 むかわ町	9月30日	スー-スユイ 弘ラビテラ.シ-ジヤ	11月2日
富田朋子	交流人口推進穂別協議会			山田 正人
Salyu部有志	米 森っこクラブ有志一同	10月4日	野崎 美江	わか 美也
太田和塩子・コウイチ	じゃがいも 渡辺満	10月6日	南 律雄	キチコウシカンマツマチ
遠藤雅樹・マナコ	じゃがいも 小川優子		SLU 有志	11月4日
新井登美子	いろはす		SLU 有志	鈴木 正子
葉山メダカの会有志	北海道コカ・コーラボトリング	10月7日	ジエイヤイントレ-ナ- 弘	フルカ ミヨ
伊藤よしのぶ	株式会社	10月12日	シヨウダ 敦仁シヨウゴ	サウカカ コバシヨウミ
岡田森夫	ミネラルウォーター 七飯町		田中 靖子	ツヅラ シノスカ イ-オン
竹村史朗	無添加あま塩たらこ・だし昆布・		川上小 はまっ子ふれあいスクール	サライ シンパイ
浅枝勝子	にぼし 八島商店		東戸塚 学童クラブ	11月5日
鎌倉フェスタ	野菜ジュース カゴメ株式会社		田島 司生	11月6日
オガタハルミ	トマト鍋スープ	10月13日	匿名	大西 多恵子
柳澤大	カゴメ株式会社		鈴木 淳子	伊丹 千晶
石田明子	バリラペンネリガーテ		川嶋 登千代	11月7日
光明優輝	日本製粉株式会社		岩月 輝希	サウダ 知コ
黄地純子	有機にんじん タクムガーデン		市川 靖	コヤマヒトシ
西川典行	米・みかん 山田 豊	10月14日	イザヅキ	ミヤク ヨシカズ
ダイゼングループ	きびだんご	10月15日	千葉 夕佳	トウガクジ
吉田健太郎	北海道旅客鉄道株式会社		松永 登	ツボウチ ハジメ
キタムラヒロアキ	トマト・たまねぎ	10月16日	上村 悦子	11月8日
ナガノタカアキ	シゼントトモニキルコト		横矢 直巳	マナコヒロコ
イワモトサトシ	りんご 太公園	10月17日	わか 加ト	中山 信児 信児
トウゴウリキヒサ	こんぶ 真こんぶの佐吉や		片岡 信吾	11月9日
ズザンネ・シュテフィン	牛乳 辰野牧場		平野 あや子	サウダ シ
アオキアツコ	卵 株式会社アプレ	10月18日		堤 祥子
オオハシミサキ	じゃがいも 藤村健太		古儀茶道 藪内流 竹風会	匿名
アサオカジュンコ	サウナ用の大理石		東京支部 菅伸子	11月10日
匿名希望 2名	キャビン大沼		ジザケクヤ	大畑 恵子
寄付金 合計 607,344円			ミト 妙子	11月11日
2011冬の北海道支援者(物資等)	2011冬の北海道支援者(支援金)		ヨネヤマ 幸	わか 吉ユコ
きのとやお菓子詰め合わせ	8月31日 岡田紀子	10月19日	ムラオ ミチ	ツバシマ
株式会社 ヴイ・エッチ	9月1日 モリマチ	10月20日	サトウ ミツル	ハラダ コウジ
元気だ状	9月2日 カ)テネキ	10月21日	タカ スミキ	アリシ アツコ
株式会社 ヴイ・エッチ	9月7日 サウケルデザインウエイ		匿名	11月12日
トランシーバー	9月8日	10月24日	ナカ ショウイチ	行方 修子
株式会社オンザウェイ	MIYO Kids' English Room		秋山 敏子	11月13日
	高部 美代子	10月25日	オオヤ, 藤田昂	有木 達也
				石川 紀子
				11月14日
				スー-スユイ 弘ラビテラ

テラシママミ
チャリティーママ
義援金プロジェクト
千葉 真希子

11月15日 岡村 納吏子

11月16日 morimoto kayo

11月16日 ハラダ コウジ
竹ガミマサキ
ヒマワリプロジェクト
ホダ ノブヨシ
ケノマコト

11月17日 ミト タシ
カ) ア - スクリエト
アサノマサコ
ヤマザキ コウジ
タカケミコ

11月18日 幼ハシケイ
ユ) ハヤシマリコキカグムシヨ
ナカノリヒト
ガイジンフオニカザリ
幼ハシケイ
ユ) ハヤシマリコキカグムシヨ
ナカノリヒト
ガイジンフオニカザリ

11月19日 粕川 素子

11月20日 長谷川 優美
宮城 聡

11月21日 小野寺 裕介
タキユカ
ヨシダ ヒロヒコ
J-SHINE オサカカインヨ
マツカヨウコ
ヒムロジユンコ
タキユカ
ヨシダ ヒロヒコ
J-SHINE オサカカインヨ
マツカヨウコ
ヒムロジユンコ

11月22日 セキネ イチ
カワサキセイカツクラブ
フクシマキッズオウエン

11月23日 武藤 十紅美

11月24日 ハシト ヒロミ
ヤシマヨウテン

11月25日 ミヤカガ コホニシ
イ - オン タカ

タガリヨウコ

11月28日 カウ タカミモタ ヒロミ

11月28日 カウ タカミモタ ヒロミ

11月29日 シムカツ ナムラ ヒロシ
ツバド コウシカキヨウカ
カイ エコ

11月30日 林ジマサ

12月2日 ナカマシヨウカ ツコウ ホカ
小林 香予

12月4日 匿名

12月5日 レアル.アカデミア.ラ.シ -
匿名
出口 利定
ヤマト エミコ
ワヤ ノブコ

12月6日 シンヤユカ

12月7日 ムラカミ ヨウコ
テラオカ シュウジ ムキコ
ヤシマヨウテン

12月9日 キタミヨウケイイノカイ
マサカセツコ

12月10日 宮野 稔

12月12日 コサカズ ヒコ
オサキ シホ
イウミキ
イダキヨミ
アトウスズヨ
イヤマキ ケニコ
ホレヒロシガ ツウキヨウイ

12月11日 片山 知子

12月13日 福山 光広

12月13日 アキヤマ ジ ユンヤ
カ) アルプス ツリユウコシ
シンヨシダ タ イニシヨウヒ -

12月14日 カ) タ ウ インチンサツ
チトクラブ ガ アツメタ

12月15日 ムラマツ タカ

12月16日 トケ) アウン
ミト タシ

12月17日 小野寺 裕介

12月19日 ハラダ コウジ
チハラ オサム

12月21日 イダキ ヨウケイ ツクシマシヨ
ホカイト ウハコダ テロウガ
中西 茂

12月22日 マチダ シノボリヤシヨウカ

材タ アケミ
トウキヨウシ ヌイカ ショウタ
坂井 昭二

12月25日 匿名

12月26日 伊藤 理恵子
ハシト リコ
匿名

12月27日 吉元 章雄

12月28日 押田 奈美子
オカカ ユウコ
ヨシダ ツトム
トケ) カハ シンタ -
ニホンムウエイ (ド)
フジ タカミ オノユウコ
マ - ケ アキオ オイ

12月29日 岩下 和彦
イノタ ノブコ
ホカイト ユキヨウケイイノ

12月30日 スキヨシ

1月4日 クラトミ エキ

1月6日 粕谷 亜紀

1月7日 上村 悦子
中野 亜衣子

2012 春の協力団体
NPO あぶくまエヌエスネット
NPO 教育支援協会
NPO ねおす
NPO 教育支援協会北海道
NPO 法人オーシャンファミリー
自然体験センター
NPO 教育支援協会東海
NPO 教育支援協会長野
一般社団法人ふるさと体験飛騨高山
塩尻市
塩尻市教育委員会
チロルの森
鉱研地球の宝石箱
塩嶺カントリークラブ
かつるクラブ
岐阜県高山市
高山市教育委員会
岐阜県不破郡垂井町教育委員会
鯉バス
大沼グリーン・ツーリズム推進協議会
子どもを守ろうプロジェクト協議会

一般社団法人こどものチカラ研究会
環境 NGOezorock
大沼ふるさとの森自然学校
北海道教育大学
北海道旅客鉄道株式会社
NPO 大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター

2012 春の支援委員

寺脇 研 (京都造形芸術大学教授)
田口ランディ (作家)
白石康次郎 (海洋冒険家)
戸塚 隆 (ジャーナリスト)
湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家)
吉田研作 (上智大学教授)
ジョン・ギャスライト
(中部大学教授・ツリークライミングジャパン代表)
玄侑宗久
(作家・震災復興構想会議委員)
藤田 保 (立教大教授)
中島岳志
(北海道大学大学院法学研究科准教授)
遠藤和章
(北海道公民館協会事務局長)

2012 春 北海道の支援者 (物資等)

<北海道現地本部>

はちみつ 北海道農政部北海道養蜂協会
トランシーバー11台 株式会社オンザウェイ
サッカーボール5個 NPO 法人 NWA
糠にしん・無添加たらこ・だし昆布・煮
干し・塩わかめ 八島商店
シュークリーム等洋菓子 中村誠治
緑茶(500ml ペットボトル10 ケース) 伊藤園
野菜ジュース、トマト鍋スープ カゴメ株式会社
パンネ 日本製粉株式会社札幌支店
冷凍トマト シゼントトモニキルコト
たまねぎ 吉田寿栄
牛乳 山川牧場/辰野牧場
じゃがいも・にんじん・いももち・漬物
渡部ハツエ
鶏卵 100 個 株式会社アプレ
米 20kg 高橋早苗
豚肉・鶏肉 アイマトン
鶏卵 株式会社アプレ
豚骨 あかり農場
<フィールドトリップ>

民泊先手配
むかわ交流人口推進穂別協議会
喫茶 峰 ホストファミリー
本念寺 ホストファミリー
穂別地球体験館 アクティビティ提供
穂別博物館 アクティビティ提供
山本要宅(森町濁川) ホストファミリー
かにめし作り体験

長万部観光協会副会長金谷圭一郎
丸金旅館格安宿泊協力 長万部観光
協会会長角つよし
民泊先手配(富樫家・横山家)
風の街未来'S
動物ふれあい体験
(小口・村岡ファーム) 風の街未来'S
民泊先手配
(桧山家・小野寺家・川島家) 江差町
江差ガイドプログラム提供
江差町教育委員会
木工芸体験 上ノ国木工センター
奥尻島プログラム企画・手配・ガイド
奥尻町地域政策課商工観光係
プログラム企画・手配・民泊 冒険家族
アクティビティ提供民泊 steven's stable
グッズ提供 西区役所

2012 春 横浜の支援者 (物資等)

<三浦半島現地本部>

弁当寄付 株式会社和幸商事
焼き菓子 宮村
焼き菓子 松下
水 光明
水、ジュース、菓子(燗)サツキエンフーズ
水、ジュース 大塚食品株式会社
絵本(地球 愛と生命のオペラ)
上田紅葉(うえだもみじ)
日焼け止めクリーム 資生堂薬品株式会社
磯の生きもの観察指導補佐
神奈川県立海洋科学高等学校
農業体験指導
神奈川県立平塚農業高等学校
たい焼きプレゼント
スカウトたい焼き隊 鈴木幸一
ビーチスポーツ(ビーチトレーニング) 指導
NPO 法人チャレンジ・スリート・ファンデーション
ビーチスポーツ(ビーチフラッグス) 指導

遊佐雅美
ビーチスポーツ(プロ) 指導 中邑真輔
ビーチスポーツ(ビーチ相撲) 指導・器
材借用 ビーチ相撲協会
大楠山ハイキング指導
NPO 法人おおくすエコミュージアムの会
大楠山ハイキング指導
三浦半島「自然ふれあい楽校」
マグロ解体ショー三崎魚市場青年部鱗会
一本丸ごと食べよう指導、寄付
三崎魚市場青年部鱗会
入館料割引 京急油壺マリンパーク
入園料無料 横浜市金沢動物園ボラ
ンティアリーダー・指導者派遣・ウォー
クラリー指導・医師・看護師手配
YMCA 横浜
ボランティアリーダー派遣・大運動会・
企画運営 早稲田大学環境ロドリゲス
ボランティアリーダー派遣学生団体 STUNITY
ボランティアリーダー派遣
渋谷教育学園渋谷中学高等学校
取材、広報協力 葉山まちづくり協会
体育館使用 三浦市立初声小学校
■寄付金

黄地純子
西川典行
telacoya921
尾鼻明子
鈴木ファミリー
富田朋子
ダイゼングループ
ナイトウワタル
永谷海大朗
永谷森太郎
西川典行
仲村トキエ
寺田千寿子
吉野典子
KG グループ
子葉山タクシー(株)
匿名希望
榎本裕
浦辺さおり
マエダテツコ
カトリック由比ヶ浜教会
有限会社ダイゼン

小林正典
 竹中ファミリー
 フナヤマミチトシ
 安倍寿生
 仲村典枝
 末武奈保子
 香曾我部まき
 丹治由美
 ニイザワワカコ
 エナミマリコ
 (有)タカハシキセイサクショ
 タカハシフミオ
 イワモトサトシ
 ハラタカシ
 ヨシノアキオ
 ヒラバヤシノリコ
 北海道旭川高等学校
 東京OB会
 モリシタミキシライタダシ

■協力金(宿泊費・食費等)

三浦半島プログラム・ボランティアの皆さん

2012 春 塩尻の支援者(物資等)

〈塩尻現地本部〉

ポテトチップ360袋・ジャガイモ30kg
 ・たまねぎ20kg 湖池屋
 ギョウザ300ヶ・もやし8kg・キムチ
 5パック テンホーフーズ
 米60kg 神山さん
 味噌5kg・りんごジュース1ℓ20本・
 プルーンジャム60瓶矢沢加工所
 長ネギ10本・たまねぎ10ヶ・長いも
 10本・白菜6玉 山麓亭
 米60kg テヅカライス
 米30kg JA 塩尻市モチ米
 30kg 竹淵健治
 牛乳50本 白樺高原牛乳
 山賊焼きのたれ9本 塩尻市農業公社
 りんご、なし2ケース 井口

2012 春飛騨高山の支援者(物資等)

〈飛騨高山現地本部〉

文房具 羽島中3-1
 おにぎり・氷砂糖 川上恵子
 お菓子詰め合わせ 位山モンデウス
 ひしもち みづの荘
 お菓子詰め合わせ 三宅荘

バンダナ・提灯 垂井町自治会
 写真 千明
 創作 共同作品 中島法晃

■支援金

渡瀬伸次
 垂井町教員有志

2012 春の支援者(支援金)

1月11日 小俣 彰男
 1月13日 パトリアマホ-ニイノ
 ハラタカシ
 1月24日 コドモノキナノ
 1月25日 匿名
 1月26日 ナゴヤ任侠団
 1月30日 アシマノドモモロウ
 1月31日 アキヤマジ
 秋山 敏子
 河合 宏美
 2月1日 木谷 一人
 Associazione Culturale Izumi
 (Massa, Italy)

#code001

2月3日 曾田 美也
 妙カヒコ
 カヤマトコ
 2月5日 武藤 十紅美
 2月6日 オノネ
 オノネ
 2月8日 市川 靖
 前田 俊
 2月9日 SMILE PROJECT
 ヤマシヨウ
 2月10日 匿名
 伊丹 千晶
 2月13日 ハラタカシ
 2月14日 カハラカ
 カミツカリ-ニゲ
 2月15日 タオ
 2月17日 カヒコ
 ミトカシ
 2月20日 オノネ
 キタトモガ
 匿名
 マノマサヒ
 2月21日 マチノシヨウ
 平澤 祐子
 マチノシヨウ

2月23日 匿名
 稲葉 久仁子
 2月24日 川口 和正
 福山 光広
 南保 友行
 伊ウガク
 2月27日 キンノハシマ
 ヒノヤカ
 2月28日 カ)キヤ
 ツダエ
 澤田 真名美
 2月29日 ヤフ-(カ
 ユアチャーチ(キリスト教会)
 3月2日 鈴木 真喜
 3月5日 伊カ
 ハシマ
 3月6日 カ
 匿名
 上村 悦子
 3月7日 ARTUR LANGER
 3月8日 セ
 小林 晃
 3月11日 山本 綾子
 3月12日 ハラタカシ
 カ
 ウ
 3月13日 MeMe Antenna
 3月14日 18
 NPO
 長谷川 優美
 3月16日 カ
 ユ)ブル-
 ピ
 3月19日 ツ
 ナ
 カ
 カ
 田中 美樹
 3月21日 ヒ
 ナ
 ナ
 マ
 伊
 勝田 綾子
 3月23日 ヨ

収支計算書<夏> (平成23年5月17日から平成23年8月31日まで) 福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会 (単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
(資金収支の部)		
I 収入の部		
1 参加費等収入		
夏期林間学校参加費収入	17,175,000-	参加者518名
2 寄付金収入		
ふくしまキッズ支援金収入	57,886,495-	寄付者 個人2075件、法人49件
3 雑収入		
受取利息	897-	普通預金利息
当期収入合計	75,062,392-	
II 支出の部		
1 事業費		主に直接経費
人 件 費	5,036,000-	現地本部運営にかかわるスタッフ人件費
旅 費	9,634,647-	北海道内の移動、大沼サイト内の移動とボランティア旅費など
食 費	4,642,984-	大沼現地運営の食材、食費及びスタッフ食費など
宿 泊 費	26,889,132-	大沼現地における流山温泉などの施設利用
入 浴 費	2,370,610-	コインランドリー代、クリーニング代
洗 濯 費	198,630-	各地区運営費用(一部大沼運営本部費用を含む)
プログラム運営費	19,596,122-	68,368,125-
2 管理費		
運営管理費	1,467,000-	福島事務局、東京事務局、横浜事務局の人件費
荷造発送費	42,790-	荷物の送付
印刷製本費	1,066,890-	活動報告書印刷費など
広告宣伝費	606,350-	DVD作成関係費用
会 議 費	146,823-	東京八重洲ホールなど
通 信 費	399,559-	説明会案内・申込み確認書等郵送費、電話代など
消 耗 品 費	572,369-	現地運営関係を含む医薬品、事務用品など
支払手数料	24,650-	講座開設手数料、振込手数料、残高証明書作成手数料
車 両 費	22,872-	車両修理費など
賃 借 料	100,000-	寶林寺(Cコース会場)賃借関係
保 険 料	392,906-	4,842,209-
活動全体の保険代		
当期支出合計	73,210,334-	
当期収支差額	1,852,058-	
前期繰越収支差額	-	
次期繰越収支差額	1,852,058-	

※当期は、活動初年度のため「予算額」および「差異」欄を設けておりません。

収支計算書<冬> (平成23年9月1日から平成24年1月20日まで) 福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会 (単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
(資金収支の部)		
I 収入の部		
1 参加費等収入		
冬のプログラム参加費収入	2,980,000-	
2 寄付金収入		参加者97名(神奈川76名、愛媛21名)
ふくしまキッズ支援金収入	17,335,926-	
3 雑収入		2011年9月1日-2012年1月20日
受取利息	265-	
当期収入合計	20,316,191-	普通預金利息
II 支出の部		
1 事業費		
人 件 費	557,000-	
旅 費	2,207,380-	事業運営人件費(現地事務局スタッフ等)
プログラム運営費	3,846,000-	6,610,380-
バス代 スタッフ移動交通費		641泊(97名)×@6000円(北海道分を除く)
2 管理費		
運営管理費	106,195-	
広告宣伝費	253,584-	管理部門(経理、アルバイト)人件費
印刷製本費	657,286-	HP作成・保守管理費用
会 議 費	4,000-	説明会資料、活動報告書等の印刷費
通 信 費	7,040-	打ち合わせなど
消 耗 品 費	65,499-	活動報告書等の郵送費など
交 通 費	38,440-	ふくしまキッズバンダナ、事務用品など
支払手数料	9,975-	管理スタッフの交通費など
賃 借 料	19,844-	振込手数料、オンライン手数料など
保 険 料	126,386-	説明会会場費
雑 費	53-	1,288,302-
参加者保険料		
当期支出合計	7,898,682-	
当期収支差額	12,417,509-	(注)当期の、活動初年度のため「予算額」欄及び「差異」欄を設けておりません。
前期繰越収支差額	1,920,362-	(注)ふくしまキッズ北海道冬プログラムについての、子どもを守ろうプロジェクト協議会(SOCC)の受託した。行政予算で実施したため、この決算書にの反映していません。
次期繰越収支差額	14,337,871-	

収支計算書〈春〉 (平成24年1月21日から平成24年4月6日まで)

福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会 (単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
(資金収支の部)		
I 収入の部		
1 参加費等収入		
「春のプログラム」参加費収入	3,965,000 -	参加者からの参加料
2 寄付金収入		
ふくしまキッズ支援金収入	7,419,440 -	支援者からの支援金(2012年1月21日～2012年4月6日受入)
3 雑収入		
受取利息	1,359 -	普通預金利息
当期収入合計	11,385,799 -	
II 支出の部		
1 事業費		
人 件 費	481,500 -	事業運営人件費(現地事務局スタッフ人件費等)
旅 費	2,081,300 -	プログラム交通費、ボランティア移動交通費など
プログラム運営費	4,479,950 -	委託費(@6,000円×泊数)
2 管理費		
管理事務費	633,750 -	管理部門人件費、SOCC事務局委託費、HP管理費など
広告宣伝費	500,000 -	後藤由紀夫氏 春のプログラム等報告会映像制作一式
印刷製本費	238,640 -	説明会資料、活動報告書等の印刷費
通 信 費	4,200 -	活動報告書等の郵送費など
消 耗 品 費	61,525 -	ふくしまキッズ春のプロジェクトバンダナ、事務用品など
交 通 費	678,457 -	実行委員会委員や管理部門スタッフの交通費など
支払手数料	10,972 -	振込手数料, オンライン手数料など
雑 費	62,822 -	上記以外の経費
当期支出合計	9,233,116 -	
当期収支差額	2,152,683 -	
前プロジェクト期間からの繰越収支差額	14,337,871 -	
次プロジェクト期間への繰越収支差額	16,490,554 -	

※(注)当プロジェクト期間は、活動初年度のため「予算額」欄及び「差異」欄を設けておりません。

(注)本計算書類は、ふくしまキッズ「春のプログラム」のプロジェクト収支の報告目的で参考資料として作成されたものです。従って、「福島の子供を守ろう実行委員会」の年度決算報告を行うものではなく、また、監査委員による監査報告書も作成されておりません。

支援金のお願い

～参加した子どもからご支援いただいたみなさまに、感謝のお手紙を差し上げたいと思います～ ご支援いただいた方の住所をお知らせください。
「福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム支援金ご寄付のお願い」
福島第一原発事故の被害から子どもたちの支援活動を作り出そうとして結成されたのが、「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会」※
です。この実行委員会にNPO、行政機関、市民が参加し、「ふくしまキッズ」を計画しています。
この活動にご賛同いただける皆様に支援金をご寄付いただき、「ふくしまキッズ」に出来るだけ多くの福島の子どもたちが参加できるように
していただければと、ご協力をお願いする次第です。どうか全国の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

実行委員長 進士 徹(NPO法人 あぶくまエヌエスネット 理事長)

※「福島の子どもを守ろうプログラム実行委員会」は2012年4月1日をもって「ふくしまキッズ実行委員会」になりました。

ご支援方法

①お振込み

支援金受付口座：東邦銀行 棚倉支店(店番号305)(普通)574540 ふくしまキッズ実行委員会 実行委員長進士徹
(カナ名義)：フクシマキッズジツコウイインカイ

②クレジット

3,000円<一口> 10,000円<一口> 50,000円<一口>

たくさんの方のご支援をいただいたことをお伝えしたいので、寄付者のお名前(カタカナ名)を当ホームページに掲載させて
いただきます。

※金額は非公開とします。あらかじめご了承ください。

※掲載を希望されない方は、ご自身の名前の前に「18」をつけてお振りこみをお願いします。

※掲載については数日かかる場合もあります。

③yahoo!ポイント：1ポイント＝1円としてご利用いただけます。

yahoo!インターネット募金よりご支援をお願いします。 携帯電話からご利用の際はこちらのQRコードをお使いください。

